



地球みらい・創造プラン
社会の変化に適切に対応する能力の育成



未来デザイン・応援プラン
多様な個性や能力の伸長



夢や希望を持って
世界にはばたく人づくり
21世紀の担い手をみんなの手で

あったかハート・元気プラン
豊かな人間性の育成と
健康教育の充実



子育て・コミュニティ育成プラン
家庭・地域社会との連携強化



きらきらひとみ・授業プラン
「確かな学力」の向上と自己実現



安心・信頼の学校推進プラン
保護者や地域社会に
信頼される学校づくりの推進



がんばる先生・支援プラン
意欲・情熱を持った教員の育成



「京の子ども、夢・未来」プラン21 ～京都府の教育改革～

私たち京都府教育委員会は、21世紀を担う子どもたちが、確かな学力・豊かな人間性・健康や体力などの「生きる力」を身に付け、夢や希望を持って世界にはばたく人間として育つことを目指して、「京の子ども、夢・未来」プラン21を策定しています。このプランの実現のため、市町村教育委員会などと連携し、府民の皆さんの理解と協力を得ながら、全力で取り組んでいきます。

わくわくいきいき! 放課後!!

府内各地で様々な学習や体験活動が行われています!

「京のまなび教室」

「京のまなび教室」とは、平日の放課後や土曜日に、様々な体験活動を行うため、小学校や公民館・児童館等で開設される子どもたちの安心・安全な居場所です。本年度は、20市町村71箇所で開催されています。
多くの方々の御協力のもと、「生きる力」や「まなぶ意欲」を育む地域ぐるみの取組が広がっています。



昭和放課後まなび教室

子どもの声
ヘビのからだは、ツルツルしてるんだなあ。ヘビと仲良かった気分だった。



精北教室

保護者の声
子どもと一緒に参加しました。大人同士も楽しくなれました。



長五小すくすく教室

子どもの声
実験は楽しかった。高学年の人が手伝ってくれてうれしかった。今度もまた参加したい。

特別講師派遣事業

大学教授、大学院生、専門技術者等が、子どもたちの「まなび」を支援する京都府独自の事業です。古生物、は虫類、天文、海洋、森林、京の伝統工芸、囲碁、折り紙など、様々な分野の方が登録されています。詳しくはHPを!
<http://www.kyoto-be.ne.jp/syakyou/>

社会教育課



かささぎまなび塾

であい!

保護者の声
教えてもらったことを、帰ってから楽しそうに話してくれました。

まなびあい!

ふれあい!



鴨小チャレンジクラブ

大人たちの温かい見守りの中で、子どもたちはマナーやルールを学び、のびのび活動しています。

京都府立特別支援学校常設展

はあとギャラリー in Rubino

Since June 6, 2008

府立特別支援学校の児童生徒の作品・作品等を常設展示する「はあとギャラリー in Rubino」が昨年6月、京都市上京区のルビノ京都堀川にオープンしました。

ギャラリーには、職業教育で制作した小鉢、コースター、木工製品、ガラスペンダントほか80点を常時展示しており、一部販売も行っています。障害のある子どもたちの自立と社会参加に向け、府民の皆様と取組を広く知っていただき、理解を深めることを目的に設置しました。全国から来られた方から暖かい励ましの言葉をいただいています。

また、北桑田高校の森林リサーチ科の生徒が制作したショーケースからは、北山杉の香りが感じられ、日本最初の障害のある人のための学校「京都盲啞院(1878年(明治11年)開校)」ゆかりの資料や貴重な教育教材などから、世紀を超えて先覚者の情熱と創意が伝わってきます。是非お立ち寄りください。



ふるさと文化体験

京都府教育委員会では、子どもたちの郷土の歴史への関心を高めるとともに、文化財を尊重する心やふるさとへの愛着と誇りを持つ心を育成するために、地域の埋蔵文化財などを直接見て触れる体験事業を平成20年度から実施しています。

山城郷土資料館

夏休みには親子で土器作りや土器作りに挑戦しました。土器や土器など焼物の歴史がぐっと身近になりました。

森仁宮跡での発掘体験では、次々に出てくる本物の古代の瓦に感動し、出てきた瓦に文字を発見するなど貴重な体験ができました。

丹後郷土資料館

親子で協力して作る勾玉作りでは、もの作りの楽しさに感動し、古代の技術が学べました。

そば作りでは地元の方々から昔ながらの方法を学び、焼き畑のための火起こしなども体感し、みんなで力を合わせる大切さや農耕の苦勞をあらためて知ることができました。



まなび教育推進プランを改定しました

施策の基本方向 重点施策

- ① 学力の基盤となる「言語力」の育成を図るため、小学校入学前の段階から一貫したシステムを構築します。
- ② 子どもたちの生活習慣の確立と学習習慣の定着を図るため、学校、家庭、地域社会の連携を深め、社会総がかりの取組を推進します。

子どもたちの「ことばの力」を鍛えます!

- ◇ 「ことばの力」育成プログラムを開発します
小学校入学前から高校までを見通し、「ことばの力」を向上させるプログラムを開発します。
- ◇ 読書の質を高める学校図書館機能の充実を図ります
学校図書館が「学習情報センター」としての機能充実を図る取組を支援します。
- ◇ 親子での豊かなコミュニケーションを支援します
乳幼児期の子どもがいる親子のコミュニケーションを支援する取組を進めます。

子どもたちの基本的な生活習慣の確立や学習習慣の定着を図ります!

- ◇ 小・中学校の円滑な接続と学習意欲の向上を図ります
中学1年生での「振り返り学習」や「漢字検定」「数学検定」「文章検定」等へのチャレンジをとおして学習意欲の向上を図ります。
- ◇ まなびアドバイザーを中学校に配置します
「スクールソーシャルワーカー」の役割を備えた社会福祉の専門家などを、「まなびアドバイザー」として新たに中学校などに配置し、子どもたちや家庭への支援を行います。



小学校外国語活動が スタートします

～平成23年4月からすべての小学校(5・6年生)で
外国語活動が開始されます～

京都府教育委員会では、平成19年度から文部科学省指定の「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」において府内のモデルとなるような研究を進めたり、今年度から全小学校の教員を対象として研修を始めるなど、円滑な実施に向けた取組を行っています。



与謝野町立石川小学校では、楽しい教材を積極的に開発したり、チャンツや体を使った活動を多く取り入れています。また、「児童が意欲的に取り組める、国際理解教育の視点を持った外国語活動」をポイントに、積極的に他校にも授業を公開しています。



※チャンツ…リズムにあわせて発音すること。

福知山市立昭和小学校では、低学年では英語を使った歌や遊びを、中学年では相手とのやりとりを、高学年では考えを伝え合うことを楽しんでいます。チャンツやインタビューゲーム、クイズなどの活動を通して、英語の表現に慣れ親しみ、自信を持って友達とコミュニケーションを図ろうとする児童の姿を目指しています。

文化の力をはぐくむ 「京育」推進事業

～高校生による小中学生への文化の継承～

府立高校の文化系部活動を活性化させ、京都の伝統文化を次世代へ引き継ぎ、その活動を地域の皆さんや小・中学生に伝えるため、「文化の力をはぐくむ「京育」推進事業」を昨年度からスタートさせました。

府立高校の文化系部活動の中から、日本音楽・茶道・囲碁・書道など18部門で育成文化部を指定し、地域の専門家や家元による専門的な指導を行っています。

また、この指定を受けた部の生徒が、小・中学生や地域の皆さんと積極的な交流を行うことで、文化の魅力を広く伝えたいと考えています。

今年京都で開催される「第29回近畿高等学校総合文化祭」や、平成23年に開催される「第26回国民文化祭京都・2011」への継承発展に向けて、これからも高校生の芸術文化活動の振興を図っていきます。



府立宮津高校・碁部



府立加悦谷高校・囲碁部



府立洛北高校・茶道部

京都府「教師力養成講座」開講中!

教員の大量退職に伴う大量採用時代にあって、次代を担う子どもたちの教育を直接担う教員の資質・能力を向上させることは、まさに最重要の課題です。

京都府教育委員会では、特に教員養成の分野に関して、採用後即戦力となる力量を身に付けてもらうため、京都府の小学校教員を目指す大学生を対象に、今年度から京都府「教師力養成講座」を実施しています。

京都府「教師力養成講座」では、京都府の教育に対する理解を深め、教員に必要な知識・心構えを身に付ける「夢・未来」講座と、学校現場で直接子

どもと関わり、その中で教員としての実践力を磨いていく「教育実践演習」の2つのプログラムを実施しています。

平成20年4月から実施した第1期においては、35名の学生がこの講座で学び、実践力を身に付け、その多くが教員採用試験に合格しました。第2期の講座もこの2月から始まっており、多くの意欲ある学生たちが、現在熱心に学んでいます。

「夢・未来」講座

「学級経営」「児童理解」等、各分野に関し学校現場での実践に基づいた特別講義を連続して実施



京都府 「教師力養成講座」

教職への意欲・情熱をもち、子どもたちへの愛情にあふれた若手の確保・育成へ

教育実践演習

専任指導教員のもと、約半年間にわたる学校現場での授業、学級活動、行事などの教育活動に関する演習を実施



詳しくは
http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoshoku/1sp/yousei/kouza/youseikouza2_2.html をご覧ください。

人権

～自分を大切に、人を大切に～

私達を取り巻く様々な人権問題について、府内の学校では年間を通し、いろいろな学習を進めています。その中で、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる児童生徒の育成を目指しています。

人権学習の一つとして、ポスターや標語の取組があります。人権を大切にしたいと思う気持ちを絵や標語に表すことで、人権意識を更に高めることができますし、友達のパスターや標語から、作者の思いを感じ取り、人権を大切にしたい気持ちを育むこともできます。

<わたしの><あなたの><みんなの>「人権」について、身近なところから考える機会を増やし、人権が尊重される社会を築いていきましょう。



平成20年度人権擁護啓発ポスターコンクール
京都府教育長賞
京丹後市立湊小学校 1年 森岡 拳志郎さん

人権メッセージ「わたしのひとこと」コンクール
青少年の部・最優秀賞
「言い逃れ 遊び半分 軽はずみ
もっと重いぞ 心と生命」
本津川市立山城中学校 2年 奥田 直希さん

丹後の学力向上をめざして

丹後教育局

丹後の学力向上をめざして Part 2

- ◆ 授業の工夫・改善をさらに進めましょう。
○ 授業の工夫・改善の取組、積極的に進めましょう。
○ 授業改善の取組で、授業の質・量・効果・効率を高めていきましょう。

学習指導において特に重視すべき内容 Part 2

- ◆ 学習意欲を高める工夫をしましょう。
○ 学習意欲を高める工夫、積極的に進めましょう。
○ 学習意欲を高める工夫、積極的に進めましょう。
○ 学習意欲を高める工夫、積極的に進めましょう。

学習指導の向上・学習習慣の確立に向けた取組 Part 2

丹後の学力向上をめざして Part 2
丹後教育局
平成20年12月

丹後教育局では、「丹後から未来へはばたく人づくり」を進めるため、小・中学校において確かな学力の充実と向上に取り組んでいます。

各学校での授業改善に向けて、指導資料「丹後の学力向上をめざしてPart2」を作成するとともに、「新教育課程に係る研修会」を開催し、学習指導において特に重視すべき内容や、学習意欲の向上・学習習慣の確立に向けた取組を示しました。



また、「目的や条件に即して考えを書いたり、説明したりする言語活動を重視」することの実践として、中学1年生を対象に「こんな丹後が魅力的」をテーマとした作文を募集しており、入賞作品の発表では、地域への誇りや将来の夢を堂々と語る「言葉の力」が感じられました。

大切な命を救うために ～AEDの設置と救急救命～

AED(自動体外式除細動器)は、突然心停止状態になった人の心臓に電気ショックを与えて正常状態に戻す医療機器です。医療の専門知識のない人でも使えるよう工夫されていて、駅や公共施設など多くの人が集まるところに設置されています。



京都府教育委員会では、児童生徒や地域住民の生命を守る救急体制を整備するため、平成18年度にAEDを全府立学校へ配備しました。

すべての高校生が卒業までにAEDの取扱いを学べるよう、まずは全教職員が救急救命法を習得することを目指し、各学校では、所轄の消防本部と連携して普通救命講習を行っています。さらに今年度は、府内3会場で救急救命法に係る講習会を4回開催し、約70名の教職員が参加しました。

講習会では、心肺蘇生の方法やAEDの使用法の講義の後、人形を使い何度も練習。迅速で適切な応急手当が、大切な命を救うことにつながることを心に刻みました。

シリーズ文化財

平成20年度 国の重要文化財の追加指定

石清水八幡宮の建造物8棟が、このたび国の重要文化財の追加指定を受けました。

石清水八幡宮 摂社若宮社本殿、摂社若宮殿社本殿、摂社水若宮社本殿、摂社住吉社本殿、東総門、西総門、北総門、摂社狩尾社本殿

石清水八幡宮は、貞観元年(859)鎮護国家を祈るため、宇佐八幡宮の神を勧請したものです。創建当時から皇室の崇敬が篤く、各時代を代表する武家も参拝をしています。

社殿は過去3度炎上し、現在の中心伽藍は徳川家光によって寛永期(17世紀前期)に造営されました。明治30年(1897)に古社寺保存法が施行された際、最初に文化財指定されたもののひとつです。当時は本社本殿など8棟のみの指定に留まりました。

今回、廻廊の外にある摂社と土塀に開けられた3箇所の門及び北西の飛地にある摂社本殿の8棟が追加指定となりました。

これらの建造物は、本社本殿と同時期の寛永期若しくはそれ以前に造営された建造物で、古い形式を伝えるものであり、各々が固有の文化財的価値を有することが評価されました。



ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談 (24時間受付)
ふれあい・すこやかテレフォン



- 075-612-3268 又は 3301
京都府総合教育センター(伏見区)
- 0773-43-0390
京都府総合教育センター北部研修所(綾部市)

来所・巡回教育相談

- 月～金【祝日を除く】 上記の電話でお申し込みください。
臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

- メールアドレス sukoyaka@kyoto-be.ne.jp

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報して下さい。

- パソコンからは
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>
- 携帯電話からは
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>

